

(食料品)

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比▲34%、前年同月比▲0.4%。売上高は前月比▲36%、前年同月比+7%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

深刻なコスト上昇に悩まされている。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

売上が前年同月比でやや減少となる中で、コストは上昇している。

山陽テクノ協同組合

当面は仕事量もあるが、後半にかけて少なくなる懸念がある。その為、今年は人材の採用人数などを控えている企業が多い。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

令和6年12月の新設住宅着工戸数は62,957戸で前年同月比▲2.5%、季節調整済年率換算値では787千戸（前月比+1.6%）となった。利用関係別では、持家は17,821戸で前年同月比+4.6%、貸家は26,424戸で+2.1%、分譲住宅は18,182戸で▲14.7%、また木造住宅は37,409戸で前年同月比+4.7%であった。住宅着工動向の前年同月比は、持家が3ヵ月連続の増加となり、貸家が3ヵ月ぶりの増加、分譲住宅が8ヵ月連続の減少となった。木造住宅については4ヵ月連続の増加となっている。

【広島県】

県内の12月の着工戸数は1,590戸で前年同月比+22.7%、うち持家は382戸で+14.7%、貸家は749戸で+42.1%、分譲は458戸で+7.8%であり、県全体の住宅着工戸数の前年同月比は増加し、延床面積も前年同月比+14.3%となっているものの、木材需要の見通しは厳しい状況に変わりはない。

戸建て住宅の不振の影響で、非住宅物件で需要を掘り起こしているものの、プレスカット工場等の稼働が盛り上がらない状況が続いている。地価の上昇、住宅の省エネ性能の向上、物流費の上昇等により住宅の高価格化がさらに進むことが予想されるため、今後の木材需要の見通しは厳しいことが想定される。

福山木材協同組合

売上高は前月比で減少した。先行きが不透明な状態が続いている。

(印刷)

●出版・印刷・関連

広島県印刷工業組合

材料費や労務費の上昇により、収益性が悪化している、業界全体でコスト上昇分の価格転嫁を推進していく必要性を感じる。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

業況に大きな変化は見られない。製造に必要な電力を再生エネルギー（風力、太陽光など）から賄うことが求められてきていると感じる。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・一般消費材は新年度に向けた新商品の受注が増加したが、自動車業界向けの生産は前月比、前年同月比では横ばい、微増レベルで厳しい状況が続いている
- ・1月という季節要因もあるが電気料金、燃料代の高騰が収益を圧迫している

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和7年01月 1, 916 m³ (前年比87.8%)

令和6年12月 2, 523 m³

令和5年12月 3, 123 m³

・令和6年度想定数量

670, 000 m³

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は、前月比▲42.1%、前年同月比+12.9%となった。年間売上は前年と同程度で推移している。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比▲1%、前年同月比▲4%となった。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産はアジア地区向けが低調に加えて、米国市場向けが横ばい状態となり、全体では微増となった。

(1月度自動車国内販売動向)

全需は376千台で、前年比+12.4%と増加した。(登録車は+10.1%、軽自動車は+16.4%)、マツダ車は+24.5%と2ヶ月連続で増加した。(内訳は登録車+34.8%(9.7千台)、軽自動車+1.4%(3.3千台))

(12月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,523千台で、前年同月比+4.7%と増加した。マツダは+1.7%と、前年同月比で6ヶ月連続して増加した。

欧州の全需は1,433千台で、前年同月比+21.6%と増加した。マツダは+5.4%と前年同月比で6ヶ月振りに増加した。

中国の全需は2,570千台で、前年同月比+5.0%と3ヶ月振りに増加した。マツダは▲15.5%と8ヶ月連続での減少となった。

マツダの12月の海外販売は、北米ではメキシコが好調で増加し、アジア地区は減少となったが、全体として99.9千台、前年同月比+2.8%と増加した。

(12月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、欧州向けの低迷や北米向けの生産調整により、輸出全体では前年比▲11.0%と減少した。また、国内生産台数は生産調整が続き、前年同月比で▲10.0%と減少した。

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和6年12月の船舶建造許可実績は5隻、115,650総トンであった。(前月3隻200,400総トン、前年同月3隻149,040総トン)なお、内訳は、輸出船が5隻で、貨物船が4隻、油槽船が1隻であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・天候不順により業種毎に売上等のバラツキが顕著となっている。繊維関連は冬物衣料の需要増加による好転、食品関連は青果物仕入値の変動による売上と収益の低下、雑貨資材関連は一部が需要低下となった
- ・販管費等のコストの上昇分を販売価格へ転嫁できたとしても、収支改善には至らないほど不安定な経営環境が続いている
- ・金利上昇によるさらなるコスト上昇が、収益性の悪化の大きな要因となる可能性が高い

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

3月（年度末）にむけて学校などの照明器具LED更新の案件等が増加したことで、売上が上昇した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

当月の実績は、びんご特選では前年比80.3%、JAS表が前年比69.1%となった。前月と比較して若干上向いた印象だが、依然としてマイナスが続いている。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・1月度の中央市場水産部の取扱高は前年実績並となった。海の時化による鮮魚の入荷量低迷や相場高による売上の頭打ち状態が続いている。特に北海道のホタテや一部の養殖ブリについては産地の輸出販売拡大による単価上昇が目立つ。
- ・1月度の中央市場青果部の取扱高については前年同月比で120.7%と増加したが、単価上昇によるものであり、入荷量としては前年同月比で91%である。市場の物量が少なくセリも短時間で終わるため、小売業者のセリ参加は減少している。

協同組合三次ショッピングセンター

核店舗の食料品店が好調で集客力が高くショッピングセンター全体の業績も徐々に伸びている。売上は安定しているが、人件費、光熱費、仕入価格等の上昇によって利益率が減少している。コスト上昇に対しての価格転嫁やさらなる新規顧客獲得で利益を上げる方法を模索している。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和7年1月度販売実績104%（前年同月比）。AV商品104%、白物商品105%、薄型テレビ102%（内有機EL75%）、DVD81%、冷蔵庫96%、洗濯機110%、IHクッキングヒーター115%、エコキュート124%、エアコン104%、炊飯器113%、電子レンジ109%、掃除機101%。カーボンニュートラルを意識し、省エネ商品の販売や家まるごとのオール電化・リフォーム等などのトータルの提案力が重要であると感じる。

●商店街

呉本通商店街振興組合

呉市の冬の風物詩である「イルミネーションロードくれ」が12月20日～1月19日まで開催された。音と光が組み合わさった新しい電飾の仕掛けも用意され、より幻想的な雰囲気をも多くの来街者が楽しまれた。

●その他小売業（燃料）

広島県石油商業組合

「燃料油激変緩和対策事業」において、補助額を段階的に減少させる措置が実施された結果、仕入価格および販売価格が上昇している。原油高と円安の進行を受け、今後もさらなる価格上昇が予想される。加えて、販売価格の上昇により、消費者の節約志向が強まり、販売量の減少が続いている。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲24.6%、前年比▲9.4%
- ・車検場収入は、前月比▲22.1%、前年比▲10.9%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲7.8%、前年比▲12%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

現場は忙しいが当月の売上等は減少傾向にある。資材供給も減少している。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、1月度は前月比▲25.6%、前年同月比▲20.5%となった。物件数は多くないが、工期が重複する案件があるため、現場の人手不足感は深刻である。

福山地区電気工事業協同組合

当月分の受付件数は495件、前年同月比60%の減少となった。

神辺建設業協同組合

当月は案件数が減少した結果、前月比や前年同月比ともに売上が減少した。さらに、物価高騰が続き景況感は悪化している。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、前月比、前年同月比ともに増加となった
- ・軽油価格は、政府の補助金の支給率減少により値上がりとなった

松永地区トラック事業協同組合

- ・売上高は前月比、前年同月比ともに大きな変化はなし
- ・燃料価格の上昇による収益の悪化が一番の問題となっている
- ・昨年は、「物流の2024問題」がメディアで取り上げられたことで、運賃値上げを実現できた事業者もいるが、値上げ幅は僅かで決して満足のいくものではない。ドライバーの賃金を改善しないと、高齢化に加え、ますます人手不足が加速することが予想される

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高年齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・売上高は前月比と前年同月比ともに大きな変化はなし
- ・不動産市場については、住宅地、商業地ともに売買が減少している。一般向けも材料費の高騰や人手不足により、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少している。マンション販売についても、新築マンションの価格高騰により、売れ行きが低調で、中古マンションについても依然として販売価格が高止まりしている
- ・今後は日銀の金利引き上げに伴う、金融機関の利率の上昇に注視する必要がある